

# 青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版46号



平成 25 年 2 月 27 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール [info@aoyamayamato.net](mailto:info@aoyamayamato.net)

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

## ～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在34歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会農林水産委員会委員、予算特別委員会委員、議会運営委員会委員、土浦市消防団第27分団員(土浦市操法大会へ3度出場)。

## ●県予算案 緊縮財政、復興防災優先

2月27日から県議会三月定例会が始まりました。平成25年度当初予算案についての審議が中心となります。平成25年度当初予算案では、一般会計は前年度比、2.6%減の1兆784億円6500万円。特別、企業会計を含めた総額は4.5%減の1兆428億74800万円。

県税収入は前年度比2.8%、85億円増の3150億円となりましたが、以前、ピーク時(平成19年度決算の4159億円)の約4分の3の水準となっております。

県債(借金)の新規発行は前年比8.5%、137億円減の1428億円であり、平成25年度末の通常県債は約500億円減の1兆3035億円となっております。依然として、厳しい財政状況には変わりありません。

## ●青山が注目する事業について

各事業案を見て行きますと、教育関係では、理科の学力向上のため、一般から理科ボランティアを募集し、小学校3～6年生の授業でチームティーチング指導を導入、国際社会で活躍できる人材育成のため、高校生を対象に国連大学セミナー受講の体験機会を提供。また、県立学校施設の耐震化補強工事については市内の土浦工業高校機械実習棟をはじめ52棟、実施設計1棟を予定。

霞ヶ浦の水質保全、浄化については、課税期間を延長した森林湖沼環境税を原資に水質悪化の一因であるリン濃度やアオコ抑制を図るため、民間の技術を公募し、霞ヶ浦に注ぐ水路や小さな河川

の3か所で実証実験を実施。霞ヶ浦浄化センターには下水処理中のリン濃度を低減化するためのリン除去回収施設を導入。生活排水対策として、高度処理型浄化槽の設置を促進するほか、家畜排せつ物による汚濁負荷削減を図るため、低塩素化施設や専用焼却炉などを設置したモデル農場実証試験。

雇用対策では、内定を得ないまま卒業した学生らの早期就職を目指す事業として、学卒者が実際の事業所に入り、働きながら正規採用を目指す仕組みを導入。これにより200人規模の雇用を想定。

医療機関の施設設備整備に関して、災害拠点病院でもある土浦協同病院の移転新築への補助も含め、災害拠点病院や2次救急医療機関などの耐震化を支援し、災害に強い医療提供体制構築を図る。

成長分野への中小企業参入促進に向け、次世代自動車、環境・新エネルギー、健康・医療機器、食品の4分野を対象に、いばらき成長産業振興協議会の活動強化や参入に向けた調査研究を進める。再生可能エネルギーの普及推進については、新たに策定する県エネルギープランの推進、小水力発電や木質バイオマスを中心に地域資源活用サポートを進める。つくば国際戦略総合特区については、国際ロボット展への参加や特区プロジェクト創出支援事業を計画、県庁内に「国際戦略総合特区推進監」を新設し、研究機関・大学などとの調整や県庁内連携の推進体制を強化。

今後、議会の本会議場や各委員会において、これら事業案の内容を精査し、きちんと効果が出るものにするため議論を深めていきます。